

第 23 回デメンシアカンファレンス 報告要旨

『急に、大声を出したり、徘徊するようになった 75 歳男性』

発表者：小西宏史（富山大学附属病院 神経内科）

司 会：道具伸浩（富山大学附属病院 神経内科）

【要 旨】

症例は 75 歳男性、ワルファリンを 2 日間休薬し、ダビガトランを内服開始した日に、急激に認知機能障害（HDS-R14/30 MMSE19/30）、異常行動、せん妄を呈した。急激に認知機能障害を生じる疾患の鑑別として、甲状腺機能障害や低血糖、肝機能障害や腎機能障害などの代謝性疾患や、感染性疾患が挙げられたが、それらは否定的であった。頭部 MRI にて新鮮な左内包膝部梗塞を認め、内包膝部梗塞による認知機能障害であると診断した。急性期にヘパリンによる抗凝固療法を行い、その後ワルファリン内服を行ったが、14 日後には MMSE20/30 であった。急性発症の認知機能障害を診療する際は、内包膝部梗塞を考慮する必要がある。

【質問・意見】

質問：もともと前頭葉の萎縮があると考えられるが、その関与はあるのか？

回答：内包膝部は視床核群と前頭葉をつなぐ経路（前視床脚）が通っており、その遮断により前頭葉の機能低下を生じる。前頭葉の機能低下があった可能性は否定できないと思われます。